

全国大学書写書道教育学会・第22回大会（秋田大会）

テーマ「書写・書道教育の現状と課題Ⅱ」

提言・シンポジウム

● 提言 いわゆる「許容される書き方」について考える

—高校生の訴えから— 14:10～14:40

昨年、高校生が、いわゆる「許容される書き方」や筆順などの漢字テストにおける採点基準に疑問を呈したビデオ作品を制作し、話題になりました。文字の正誤に関する問題に加え、書写の立場からは、書くことの目的や場面に応じて書くことに関わる問題として、また速書きなどの書くという動作・行為の問題として、高校生からの投げかけをきっかけとして、かかる課題に再度目をむける機会にしたいと考えます。

コーディネーター 宮澤 正明 全国大学書写書道教育学会理事長

● シンポジウム テーマ「書道教育の実情と今後の展望」

14:50～16:20

昨年の愛知大会では、小・中学校の4人の先生方にご登壇いただき、「書写教育の実情と今後の展望」について述べていただきました。本年度は、高校・大学の先生方にご登壇いただき、高校での芸術科書道の授業の取り組み、その成果や課題をはじめ、高校と大学での連携などの話題を含め、上記のテーマでご発言いただきます。

パネラー 後藤 武之 秋田県立秋田西高等学校教諭

海野 優子 宮城県涌谷高等学校教諭

服部 一啓 福岡教育大学講師

コーディネーター ~~柳本 秀樹~~ 全国大学書写書道教育学会常任理事

廣瀬 裕之

日時：平成19年10月21日（日）14:10～16:20

会場：秋田大学教育文化学部 3号館145教室

（秋田市手形学園町1-1 ㊦018-889-2669）

主催 全国大学書写書道教育学会

後援 秋田県教育委員会・秋田市教育委員会

★ ご参加をお待ちしています。

*会員以外の方も参加できます。（提言・シンポジウムのみ参加の方は無料）